

# 平成23年度「宝くじ松」配布事業が完了しました

(財)日本緑化センターでは、(財)日本宝くじ協会の助成を受けて、マツを全国各地に植栽し、マツの保護育成技術の普及啓発を行うとともに、マツ枯れにより失われた松原の再生を図る活動を行なっています。

平成23年度は、5団体、4,590本の松苗を配布、植栽しました(表1)。栃木県の事例は、地名である千本松にちなんで1,000本のアカマツ苗を植栽し、「1000年の森を育む」ことを目的に実施(図1)。他の4事例は、マツ枯れにより失われた松原の再生を図る目的で、地元の方々の尽力によって実施されたものです。

栃木県と石川県かが市では植樹祭を開催し、地域のみなさんと一緒に「宝くじ松」を植栽しました。

これらの松苗が地域の方々に見守られながら成長し、後世に引き継がれていくことを願っています。

## 「宝くじ松」配布事業とは？

本事業は、「日本の松の緑を守る会」が昭和60年から実施し、平成14年までに45都道府県、413箇所に28,283本のマツを配布、植栽してきました。平成15年、同会の解散に伴い当センターが事業を引き継ぎ、翌年の16年度より事業を開始、23年度までに38都道府県121箇所66,349本を植栽し、松原の再生事業をすすめています。

表1 平成23年度「宝くじ松」事業実施概要

都道府県	事業実施団体名 植栽場所	樹種 植栽本数
栃木県	那須野ヶ原土地改良区連合 赤田調整池	アカマツ※ 1,000
石川県	かが市民環境会議 片野保安林	クロマツ※ 1,000
石川県	根上森林連合会 能美市中町地内保安林	クロマツ※ 890
島根県	浜山を守る会 島根県立浜山公園	クロマツ※ 1,100
高知県	南国市海岸地域美化推進協議会 高知県南国市浜改田	クロマツ 600
計	5箇所	4,590本

※は抵抗性マツ

## 「宝くじ松」配布の条件は？

- ▶対象団体：NPO法人及び民間団体
- ▶植栽場所：公共用地  
学校・公園・山林・海岸・公営の施設（運動場・図書館・老人ホーム等）、公開されている神社仏閣等
- ▶対象：マツ樹代金、説明サイン(図2)、ラベル(植付け・設置に係る費用は対象になりません)
- ▶スケジュール：募集の次年度に実施。10～12月頃に植栽、1月中に完了書類の提出。

詳細はホームページをご覧ください

<http://www.pinerescue.jp/torikumi/takarakuji/index.html>



図1 那須野ヶ原土地改良区連合では、「1000年の森を育むみんなの植樹体験」と題したイベントを開催。栃木県初となる1,000本の松苗を植栽しました。

写真提供：那須野ヶ原土地改良区連合



図2 「宝くじ松」植栽箇所には、マツ樹植栽の趣旨と当センター並びに(財)日本宝くじ協会の寄贈であることを示す説明サインを設置。写真提供：浜山を守る会